

## 経営体の概要

- ・所在地：長崎県西海市
- ・防除受託組織：
  - JA長崎せいひ北部ドローン防除組合（オペレーター4名）
  - 長崎西彼農協琴海青壮年部（オペレーター7名）
- ・防除受託面積：水稲115ha・ばれいしょ7ha（H30）

## 導入技術

- ・ドローンによる薬剤散布
- ・主要性能：タンク容量5ℓ、飛行時間10分、飛行間隔（薬剤散布幅）3～4m

## 導入経緯

- 無人ヘリ防除が実施されてきたが、県外の受託組織であること、中山間地主体であることから適期防除や臨機防除がしにくい場合があり、より効率的、機動的に防除できる体制整備が課題であった。
- そこで、H29年9月、当該地域に防除組織2組織が組織されドローンが1台ずつ導入された。

## 取組の特徴・効果

- 無人ヘリ防除との連携により地域として防除作業が効率的に実施できるようになってきた。
- 当該地域の無人航空機防除面積（水稲延べ面積）
 

	H29	H30	R1
無人ヘリ	530ha	430ha	450ha
ドローン	13ha	115ha	119ha

 （※H29,30実績、R1計画）
- 単位面積当たりの防除作業時間は、無人ヘリが短いですが、ドローンは小型軽量で取り回しがよく中山間地など不正形・狭小圃場の多い地域ではドローンの優位性が高い。
- ドローンは水稲のみならず、ばれいしょの防除（面積7ha）にも活用しており、追加で1台導入したいと考えている。



ドローンによる薬液散布作業